

さくらの花だより

豊中市教育委員会
学校教育課計画係
令和4年(2022年)11月
NO. 16

子どもたちの縦のつながりを実感 ～さくらふれあいフェスティバルが開催～

10月29日(土)に、庄内さくら学園中学校区地域教育協議会(さくらネット)の主催による「さくらふれあいフェスティバル」が開催されました。庄内さくら学園中学校開校以来、コロナ禍にあつてこれまで実施できないでしたが、ようやく3年ぶりの実施となりました。当日は秋晴れのもと、庄内さくら学園中学校の体育館及びグラウンドにはたくさんの人が集い、楽しい一日となりました。

オープニングは、庄内さくら学園中学校吹奏楽部による演奏でした。楽しくパフォーマンスを織り交ぜながら、素晴らしい演奏となりました。つづいて庄内小学校「庄内音楽隊」とのコラボレーションで、吹奏楽部の演奏のもとで、音楽隊による合唱「ビリーブ」がありました。ステージに小学校1年生から中学2年生までの子どもたちが並んだ姿は、来年の義務教育学校「庄内さくら学園」の縦のつながりを体感するものとなりました。小中で日程調整に苦慮しながらも、何度か合同練習を重ねての本番となりましたが、体育館に響き渡る歌声はとても素晴らしいものでした。地域教育協議会(さくらネット)の吉川会長の開会あいさつのもと、ゲーム・体験コーナーがスタートしました。



体育館では、こども園・幼稚園による「景品釣り」「自然物制作」、中学校生徒会による「ペットボトルボーリング」「プルタビー」「ピンポンパンポンピン」、そしてグラウンドでは小学校PTAによる「モルック体験」のコーナーがありました。(庄内さくら学園Q&Aのコーナーも設置しました)



どのコーナーも長蛇の列ができ、保護者に連れられた就学前の子どもたちから小学生、中学生と「スタンプラリー用紙」を手に、一つひとつ楽しくクリアしている姿がありました。午前中の2時間たっぷり笑顔で遊び、交流するひとときとなりました。取り組みを終えた生徒会の子どもたちは、「小さい子にゲームのルールを教えるのがとても難しかった」「大変だったけど、めっちゃ楽しかった」との思いをもつとともに、これが来年は日常になるのかなとの感想がありました。



今回の「さくらふれあいフェスティバル」で様々なところで「子どもたちの縦のつながり」を体感する場面が見られ、来年の庄内さくら学園での異学年交流につながるものを感じる一日となりました。



沖縄との交流がはじまる

10月26日(水)に、庄内さくら学園中学校生徒会と沖縄市立越來中学校生徒会とのオンライン交流会がありました。来年「庄内さくら学園」では、9年の修学旅行先が沖縄となることもあり、また豊中と沖縄とは兄弟都市であることで交流を深めていくこととなりました。お互いの学校や生徒会の取り組みを報告し、それぞれ質問を出し合い楽しく交流することができました。今後も引き続き、交流をすすめていくことを確認して終わりました。

